

令和 6 年度貫井図書館「図書館利用者懇談会」議事録

- 1 日時 令和 6 年 10 月 29 日（火） 午後 2 時 00 分～午後 3 時 30 分
- 2 場所 貫井図書館 視聴覚室
- 3 参加者 利用者 21 名 内ガイドヘルパー 1 名
光が丘図書館 2 名
貫井図書館 4 名 （貫井図書館長、館長代理 3 名）
- 4 テーマ 知の基盤となる情報拠点としての練馬区立図書館サービスについて

5 配布資料

- (1) これからの図書館構想
- (2) 貫井図書館だより
- (3) 美術パスファインダー
- (4) 令和 5 年度下半期～令和 6 年度上半期 事業実施報告
主な児童・青少年向け行事まとめ、主な一般向け行事まとめ、展示まとめ

6 次第

- (1) 貫井図書館長挨拶
- (2) 図書館職員及び参加者自己紹介
- (3) 図書館事業説明及び懇談
 - ① 子供たちへのサービス
 - ② 一般、高齢者、障害者サービス
 - ③ その他
- (4) 貫井図書館長挨拶

貫井図書館利用者懇談会 会議録

1 貫井図書館長挨拶

皆様こんにちは。私、今年の 4 月から当館の館長になりました木南と申します。初めての方もいらっしゃると思いますが何卒よろしくお願いします。

練馬区の図書館では読書週間に合わせて、毎年利用者様との懇談会を開催しております。当館でテーマとして掲げている「知の基盤としての情報拠点としての図書館サービス」を主題に進めて参りますが、貫井図書館に関することでご意見・ご質問など

いただけたら大変助かります。よろしくお願いします。

2 図書館事業説明および懇談

①「子供たちへのサービス」

◆図書館長より状況報告◆

コンセプト1) ”世界の知と出会い、学びを豊かにする”事業についてですが、多様な学びの機会の提供として、図書館振興財団が主催する”図書館を使った調べる学習コンクール”への取り組みを平成29年度から行っており、今年度貫井図書館にご応募をいただいた作品数は80点にのぼります。なお当館ではその前段として、夏休みに入ると「調べる応援隊」のバッジをスタッフ全員が胸に付けて、ご来館の方々が調べものについて気軽にお声掛けいただけるような環境づくりを行い、併せて関連するイベントを実施するなど、子供達に”調べる”ということへ意識を持ってもらえるように工夫しております。先日、審査会を行って入賞作品を選考いたしました。ここ数年多くの作品が寄せられ、この地域に浸透してきていることを実感しております。昨年も貫井図書館で受付けた作品から全国コンクール優良賞が出まして、大変うれしく思います。因みに全国から約11万点の応募がある中で優秀賞/優良賞に選ばれるのは0.1%程度になります。近年、探求学習が重視されてきておりますので、こうしたコンクールは大変意義のあるものと考えております。引き続き子供たちへの読書活動推進のため図書館にできることを取り組んで参りたいと思います。

また、子ども向けのイベントとして、科学実験教室を年2回実施しております。今や恒例となっているイベントですが毎回とても楽しいと好評で、低学年のときに参加して以降、高学年になっても参加してくれる方がいらっしゃるほどです。

その他にも、中高生などの青少年向けに、実際に企業の現場で従事している若い方が講師となってお仕事について語る講座や、お店屋さんごっこを通じて親子でお金について学ぶ講座、または一人芝居を通して物語を伝えるイベントなど、興味を引くような事業を実施しました。

加えて“知識と人を繋げるアウトリーチ”のテーマにありますように、日頃より近隣地域の施設様と連携し、文庫様や保育所、児童館、あるいは障害のある方を支援する教室に出かけて行って、おはなし会などの事業を行っています。

なお地域連携については、コンセプト1×コンセプト3) ”知が交わり、創造を生み出す”の枠に取り上げておりますが、多くの方にご協力をいただいております。

学校関係では、近隣小学校から推薦されて集まった生徒が一般利用者の前で読み聞かせを披露する「よみきかせ大臣」があります。当館の恒例行事として今年17回目を数えております。

また、貫井中学校や富士見高校の生徒さんによる読み聞かせ会や、おたのしみ会な

ども実施しております。小学生だけでなく中高生の方の活動の場として図書館を使っていたいただければと考えておりますが、学校や生徒さんから大変好評をいただいております。

他にも、区の所管課主催事業への協力や近隣の児童館様に来ていただき実施する行事、練馬区ボランティア様との協業、練馬区を拠点に活動をされている団体様のコンサートなど、地域の方々との事業をいろいろと実施しております。

次にコンセプト2) ”練馬の文化を継承・発信する”に関してですが、まず「調べ学習用地域資料カード」について説明いたします。これは、歴史や旧跡、特色ある文物を取り上げ、カード形式で分かり易く解説しているものですが、小学生が地域調べをするのに、地域資料が基本的に大人向けのものばかりだったことから、小学生向けの資料を作ろうということになって始めたものです。石神井/大泉/関町/南田中/貫井図書館の5館合同で取り組んでおりまして、各館で分担してカードを作成し纏めております。令和3年度から取り組みを開始し、現在カードは44枚を揃えるまでになりましたが、年度始めに近隣の学校にお配りして先生から大変好評をいただいております。

またアートマルシェについては、アートに興味をもってもらいながら、様々な要素で中村橋のまちを盛り上げることを目的として、昨年度から練馬区立美術館・東部まちづくり課が主体となって運営しているイベントで、貫井図書館は共催として参加しております。図書館では、児童向けや大人向けのイベントを企画しましたが、児童については、美術館のエントランスホールの一角をお借りして絵本の読み聞かせ会を実施しました。当日は天候に恵まれたこともあって多くの来場者が立ち寄って下さり、2回開催で延べ90名のご参加がありました。皆様に図書館事業を知っていただく良い機会になったと思います。

児童サービスの最後、コンセプト3) ”知が交わり、創造を生み出す”については、先ほど紹介しましたコンセプト1) におけるイベント型とは異なるものとして、託児サービスと読書交流会を挙げさせていただきました。託児サービスについては、小さいお子様を持つ保護者の方が安心して本を探し閲覧することができる時間が持てるよう支援したいと考え、NPO法人「手をつなご」様にご協力を仰ぎ出張保育をお願いしているものです。利用される保護者の方からは「有難いです」と感謝の言葉を頂戴することが大変多いので、必要とされる大事なサービスであると認識しております。

また読書交流会については、近隣の2つの中学校の図書委員が、意見を交わしながら一緒になってお薦め本の紹介パネルを作成していくものですが、こうした交流機会を創ることについては、図書館から学校に提案して実現したのになります。

以上駆け足で紹介しましたが、これら貫井図書館の児童・青少年向け事業に関しまして、皆様からご意見・ご質問を賜りたく存じます。

利用者 夏のお楽しみ会や実験教室など、図書館の資料を使ったり講師の方に教えていただくということは、子どもにとって大変有効な教室になったのではないかと感じております。夏・冬と限定的なものではなく1年間を通じて何か一つの課題に取り組ませるといような機会もあると良いなと思うのですがいかがでしょうか。

図書館 1年間12回の講座は難しいですが、1年間通じて何かを成し遂げるというようなことはとても意義のあるものとして興味は持っています。

一般向け事業の方で古文書講座という2回連続講座で、2回とも参加できる方に限るとい募集の仕方にさせていただいているものがあります。例えば子ども向けの講座などを、年間12回ではなく年間6回連続講座として開催した場合、年間通して参加をしたいという方はいらっしゃると思います。こうした通期の連続講座については、スケジュール等難しい面はありますが、条件や内容を含めて検討したいと思います。貴重なご意見をいただき有難うございます。

利用者 国立科学博物館に年間通して行う教室があり、それに私の子どもが参加し、成長する上で糧になったという経験があります。もし可能ならそのように長期に渡っての研究が図書館で出来たら、多くの子どもにとって非常に良い経験になるのではないかと思います。

図書館 そのような経験は大変大事なことだと思います。実現できるようでしたらご案内させていただきます。

利用者 コンセプト2の練馬文化を継承・発信するということについて質問です。石神井・大泉・関町・貫井・南田中図書館合同の調べ学習用地域資料を44枚作ったということですが、これは他の練馬区全体の学校に配布されているのでしょうか。それとも、こちらの図書館の連携する地域校に配られているのでしょうか。

図書館 こちらは同じ指定管理者が運営している5館で取り組んでいるものです。全校に配る形で提供出来れば理想的ではありますが。

利用者 このような調べ学習用資料を作っていると図書館から呼びかけることはしているのですか。

図書館 5館でそれぞれが全セットを図書館の資料として登録しておりますので、それを見つけて貸出しをご希望していただければどんな方でも手に取ってい

ただけるという状況になっております。

各学校へのご案内については、現在、それぞれ5館の近隣の小中学校に配布させていただいています。さらに活用していただけるように努めて参りたいと思っております。

図書館 貫井図書館ではデジタルアーカイブというものを公開しております。インターネット上に図書館資料で古いもの、貴重なものをデジタル化してアップロードし、どこからでもアクセスできるという状態にしております。地域資料カードもインターネット上にアップロードをすることが可能であるか検討したのですが、様々な事情により現在保留中となっております。今後、インターネット上で閲覧できるようにしたいとは考えております。

また、地域資料カードは歴史家の方に監修していただいております。著作権フリーとなっております。複写して使うことは可能ですので、図書館でコピーをしたり、貸出して家庭学習に使うなど、なるべく多くの方に利用していただけるようにしております。

利用者 絵本の読み聞かせについて質問です。図書館司書以外に読み聞かせを行うグループや個人の方はいるのでしょうか。

図書館 ボランティアの個人の方や「ねりまブックスタートの会」「ねりまおはなしの会」等のグループの方々にご協力いただいております。

利用者 その方々はどのような基準で選んでいるのですか。

図書館 光が丘図書館で研修をした方の中から選んでおります。

②「一般、高齢者、障害者サービス」

◆図書館長より状況報告◆

コンセプト1) ”世界の知と出会い、学びを豊かにする一多様な学びの機会の提供” としましては、文学講座や古文書講座など、資料そのものの魅力を伝えていくイベントや、本の福袋などは、資料にあります展示コーナーでの演出などと併せて、新たな本と出会う機会を工夫したものになります。また難民に関する上映会や講演会については、共用部廊下での大型展示に併せて行い、多くの方に知っていただくような取り組みをしておりますが、講演会などは、複数の館とオンラインで繋いで同時中継するなど、できるだけ多くの方が参加できるような工夫も行っております。他にも、出版社トップが語るトークイベント、マネー講座や趣味講座、大人のためのおはなし会など、多彩な事業を実施しております。

さらに“知識と人を繋げるアウトリーチ”として、近隣の障害者施設や高齢者サロンへの出張事業をいくつか実施させていただいております。

それ以外にも地域連携については、コンセプト1×コンセプト3) ”知が交わり、創造を生み出す”のテーマに掲載しましたとおり、地域包括支援センター様との高齢者向け講座や、地域子ども家庭支援センター貫井様との保護者向け事業、障害のある子どもを支援する施設の方の講演、視覚障害者として自ら点字で読み上げる朗読会、バリアフリー映画会など、様々な方々に参加していただけるような事業を、専門に取り組んでいる施設様ご協力のもと実施致しております。

また障害者サービスのひとつである対面朗読室ですが、昨年度も当館は多くのご利用がございました。引き続き区内で一番利用されておりますが、これは同時にボランティアの方々に支えられて至った結果でもあります。改めてご協力に感謝申し上げます。

コンセプト2) ”ねりまの文化を継承・発信する”にしましては、ちひろ美術館様と複数図書館で共催した講演会や、ワーナーブラザーススタジオツアー東京様に因んだ講座を実施しました。当施設の練馬区立美術館様との共催事業としては、美術展示に併せて実施するワークショップや、児童サービス事業でも紹介しましたアートマルシェにつきましては、本のリサイクル頒布会を行い、多くの方にご来場いただきました。また当館恒例イベントとして、地元練馬をテーマにしたオリジナルソングを披露する「ねりうたライブ」があります。今年で10回目を迎えましたが、参加した皆様が手拍子を打ちながら一緒に楽しんでいる様子が窺え、今年も大変盛り上がりました。

なお美術館様との取り組みについては、資料にありますように、毎回の美術展に合わせた紹介掲示を図書館内で行い、来館者への周知を図っております。併せて、お配りしました美術パスファインダーなるものを図書館で作成し、美術展に関連する本なども紹介させていただいております。

コンセプト4) ”情報へのアクセスを支援する”事業としましては、地域資料『中むらの昔その2』をデジタル化してインターネットに公開していることが挙げられます。現在新たな資料をデジタル化すべく取り組んでいるところでございます。完成次第公開を予定したいと思っております。

それ以外にも、都が実施する高齢者向けスマートフォン利用普及啓発事業への協力を行い、デジタルデバイドの解消に向けた推進活動の機会を設けております。

最後に、地域情報の発信についてお話させていただきます。お配りしました”貫井図書館だより”ですが、発行の際には、日頃図書館に足を運ばない方にも情報が届くよう働きかけをする上で、貫井町会、富士見台町会、向山西町会の皆様に回覧板での配布

にご協力をお願いしております。この場を借りて御礼申し上げます。

その他にも、書架の地域コーナーや共用部廊下などで近隣施設様の紹介を行っております。今も中村かしわ地域包括支援センター様の紹介展示をしておりますが、今年度は他にも、富士見台地区区民館様や中村児童館様も取り上げさせていただきました。また共用部廊下では、つい先日までパリオリンピックのメダリストを輩出したNEXUSフェンシングクラブ東京様の展示を行ってまいりました。

これら一般向けの事業につきまして、何かご意見ご質問がありましたら挙手をお願いいたします。

利用者 タブレットに図書をダウンロードして貸出をするサービスを実際に行っている図書館は全国にありますか。

図書館 練馬区でも、システムリプレイスに伴う休館明けから電子書籍の利用が始まります。電子書籍に関して意見等ございましたらお寄せください。

図書館 電子図書館自体は導入している自治体は多いです。また、国会図書館ではデジタル化が進んでおりますので、個人で利用することも出来ます。

利用者 タブレットごと貸出すということができたら良いですね。

図書館 そうできたら良いですね。

利用者 最近、読書離れという言葉が新聞等でよく目にすることが増えてきています。練馬区の調査でも小・中学生の読書率がかなり低下しているという結果が出ています。そのなかで、コンセプト1の「本の福袋」を通して、楽しみながら本に触れる機会を得られるということはすごく重要な取り組みであると感じています。

この福袋の中身はどのように選定しているのですか。図書館の本の入れ替えの時期に合わせて不要な本を入れているのでしょうか。

図書館 「本の福袋」の中身は、リサイクル本ではありませんので差し上げているものではなく、お貸出しをするものです。福袋という形で中に何が入っているか分からない状態で利用者に手に取ってもらい、本との偶然の出会いを楽しんでいただくというものでございます。

図書館 毎年かなりの数を用意するのですが一日、二日で全部貸出されてしまいます、大人向け・子供向けと用意をしていますが、どちらもすぐに無くなるほどの人気です。今年も実施しますので見つけたらすぐに手に取っていただければと思います。

利用者 先ほど話に出ましたリサイクル本のことですが、リサイクルされた本がネ

ットのフリマサイトで大量に販売されているのをよく目にしますが、それについてはどうお考えでしょうか。

図書館 リサイクル本の頒布をするうえで、個人の利用に限らせていただき、転売などはしないようお願いしているのですが、持ち帰られた本を制御することは難しく、皆様の良心に委ねる形になっているのが実状です。

図書館 リサイクル本には、全て除籍印を押し、リサイクルの目印になるシールを貼ってリサイクルコーナーに出しています。それでもインターネット上で転売されているので対応に困っているところです。

③「その他、事業以外について」

図書館 その他にご質問がありましたらお受けします。

利用者 設備のことについて質問です。先日視聴覚室で教育委員会の委託講座に参加した際、講師のパソコンからプロジェクターに投影した映像が映るところと映らないところがあり、講師の方が困っていました。これは、プロジェクターの不具合なのでしょうか。どうしてこのようなことが起こるのか教えてください。

図書館 このプロジェクターはかなり古いもので、パソコンから出力されたものを映し出すという機能しかありません。一部だけ映らないというのは、そのページ設定に問題があったのではないかと思います。

図書館 時間があれば事前に一通り確認することが出来ると良いかなと思います。

利用者 例えば Mac だとダメとかそういうことはありますか。

図書館 基本的にパソコンと繋げるケーブルには HDMI と呼ばれる端子と AVG、VGA があります。Mac は仕様が違い、タイプ C やライトニングケーブルという独自規格のものになっています。その端子を変換するケーブルも用意してありますので、様々なパソコンをケーブルに繋ぐことは出来ますが、結局は繋いだものを映し出すことしかこのプロジェクターは出来ません。

利用者 結構単純なんですね。

図書館 そうですね。このプロジェクターは、パソコンから送られた情報をそのまま映し出すだけの機器なので、ページが映る映らないなど個別に制御することは出来ない作りとなっています。操作方法でわからないことがあれば私どもに相談していただければお答えいたします。

利用者 図書館と美術館の改築の件に関して質問です。立て替えの期間中、図書館としての機能は無くなってしまうのでしょうか。代わりの施設を作っていたきたいと思っています。

光が丘図書館 再整備に伴う工事期間中の対策についてお答えします。工事に伴い休館する期間は3年を予定しております。休館中は、近隣の区立施設などを借りて、図書の貸出返却を行う仮設の窓口を設置できるよう検討しております。また、ブックスタート等の行事も継続していけるように現在検討しています。内容が決まり次第区のホームページや貫井図書館の掲示板でお知らせいたしますので、もう少しお時間をいただきたいと思います。

利用者 まだはっきりと代替え施設は決まっていないということですが、3年間の休館は長いので、図書館事業の他に、新聞・雑誌の閲覧ができる地域の方の居場所を近隣の施設に作るというようなことは考えていますでしょうか。

光が丘図書館 雑誌や新聞などを閲覧する場所是非常にニーズがあるということは承知しています。まだどこに仮設の窓口を設置するかは決まっておりませんが、新聞・雑誌の閲覧ができる場所を確保できないかと検討しているところです。

利用者 この視聴覚室を使用して読み聞かせ会を開催している者です。最近、区のような施設の予約が取りにくくなっています。新しい図書館には、こういった施設が複数あれば良いと思っています。現在、利用が多い時の調整方法はどのようなのでしょうか。

図書館 現在、区民センターが改修中のため、近隣でお部屋貸しに対応しているのはサンライフ練馬と貫井図書館となっております。そのためスペースが非常に限られてしまっていますので、競争率がかなり高くなっています。貫井図書館の視聴覚室もいつも埋まっているような状態であり、ご迷惑をおかけしています。

申し込みの件に関しましては、現在申込順となっております。2か月前にご連絡をいただいて、ご希望の日にちをお聞きして空きがあれば仮予約をするという形になっております。抽選というようなことはしておりません。

利用者 優先順位の考え方を参考までに聞かせてください。

図書館 視聴覚室の予約は、まず図書館の事業を優先して入れています。そのうえで申し込みとなりますが、申し込める期間も図書館に係る利用か否かによって違います。

図書館に係る事業、おはなし会や読書会などについては、3か月前から申込みができます。それ以外の図書館には関係しない事業については、2か月前からとなっております。利用目的によって申し込める早さが違い、且つ、申込順となります。現在、このような形で受付をしています。

利用者 現在、児童サービスや出張サービスなどを図書館で行っていますが、休館中の3年間は出張事業を継続するのでしょうか。

図書館 まだ決まっていないところもあり、あくまでも希望でございますが、休館中も出張事業は継続していきたいと考えております。

利用者 図書館でたくさんの事業を行っているということが良く分かりました。ただ、区民の為の社会教育の観点からでは、他にも様々なサービスを行ったほうが良いのではないかと考えています。駅に近い立地を活かし、サラリーマンや学生に対して英会話の講座、留学生向けの日本語教育の講座、こういう講座を開き社会に貢献していき、区民の税金の納税向上に繋げる、このようなサービスを図書館も担ってほしいと思っています。

図書館 ご意見ありがとうございます。地域の方々が生活しやすくなるために、様々なサービスをしなくてはいけないと考えております。今後、そういった取り組みが出来るように検討していきたいと考えております。

利用者 閉館のスケジュールについて決まっていることはありますか。

図書館 外に着工スケジュールの看板を立てております。来年の秋である旨ご案内しておりますが、具体的な事はまだ決まっておりません。

光が丘図書館 看板には11月着工とあり、工事開始時期はそれぐらいを予定しております。しかし、まだ工事会社も決まっておらず、予算も確定しておりません。片付けの時間もありますし、工事の前日まで開館しているわけには参りませんが、休館期間は一日でも短いほうが良いと考えております。工事時期や休館中の仮設の窓口の事など決まり次第お知らせいたします。

4. おわりの挨拶

予定のお時間が近づいて来ましたので、このあたりで貫井図書館の利用者懇談会を終了したいと思います。お時間いただき有難うございました。来年休館を迎えるにあたり課題は多くありますが、引き続き皆様に喜んでいただけるようなサービスの提供を目指して参りたいと思います。最後にアンケートご記入のご協力をお願いいたします。

これをもって貫井図書館の利用者懇談会を終わらせていただきます。ご参加ありがとうございました。